



中世の光と影：書物をめぐる冒険②



炎のアンダルシア

TUFSCinemaとは……

東京外国語大学TUFSCinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的としています。

「中世の光と影：書物をめぐる冒険」では、2回にわたり、書物（写本）を影の主人公とする広義の中世映画を上映します。争乱や迫害に絶えず脅かされながらも、人々に生きる希望を与え、知の継承を可能たらしめてきた本が持つ力を再確認する機会になることを願います。



上映日時 2024年

7月7日【日】

13:00上映開始（開場12:40、終了予定16:30）

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

映画『炎のアンダルシア』本編上映（135分）

上映後解説／トーク
押尾 高志（西南学院大学准教授）
司会 久米 順子（東京外国語大学准教授）

主催 東京外国語大学 TUFSCinema
後援 「中世イベリア世界の多文化共生再考」科研C
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は ▶▶▶
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240707form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。

定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

【お問合せ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
（TUFSCinema担当）

TEL **042-330-5441**
（平日9:00-17:00 12:00-13:00は除く）

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFSCinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2024年7月7日(日) 13:00上映開始(12:40開場、16:30終了予定)

中世の光と影：書物をめぐる冒険 ② 炎のアンダルシア

監督：ユースフ・シャヒーン
脚本：ユースフ・シャヒーン、ハーリド・ユースフ
音楽：カマル・タウィール、ヤフヤ・ムーギー
歌：ムハンマド・ムニール
出演：アヴェロエス(イブン・ルシュド)：ヌール・シェリーフ
ゼイナブ：サフィア・エマリー
アブダッラー：ハニー・サラマ
マルワーン：ムハンマド・ムニール
カリフ・マンズール：マフムード・フメイダ

日本語字幕：山崎剛太郎

受賞歴：1997年カンヌ国際映画祭第50回記念特別賞受賞

あらすじ

12世紀のアンダルス(イベリア半島南部)。カリフ・マンズールの宮廷で大法官を務める哲学者イブン・ルシュド(ラテン語名アヴェロエス)が、権力欲にかられた富豪シェイフ・リヤドと過激イスラーム主義集団の陰謀に巻き込まれ、ついには焚書の命が下る。妻と娘、彼を慕うカリフ・マンズールのふたりの息子、吟遊詩人、異端迫害を逃れてきたキリスト教徒の若者が、アヴェロエスの著作を守るべく奮闘する、イスラーム版時代劇!

1997年/エジプト、フランス/135分/エジプト・アラビア語、フランス語/日本語字幕

原題：المصير (Al-Massir) 仏題：Le Destin 英題：Destiny

本作について

一思想には翼がある。その羽ばたきは誰にも止められない
(ユースフ・シャヒーン)

アンダルス(イスラーム・スペイン)を舞台とした稀有な時代物。アリストテレス注釈により、スコラ哲学の成立に寄与した実在の哲学者イブン・ルシュド(作中日本語字幕ではアベロエス)を主人公に、陰謀、恋愛、家族愛、アクション、ミュージカル場面を交えて怒濤のように進行するエンタメ大作と見せかけつつ、20世紀エジプト映画の巨匠が、思想・言論の自由を熱く訴える。

上映後解説

押尾 高志 (西南学院大学国際文化学部准教授)

会場

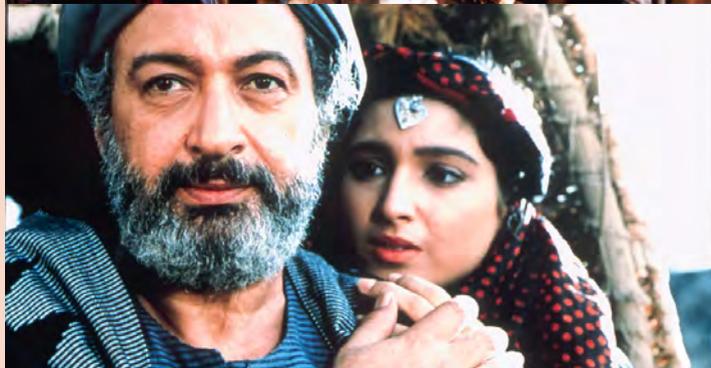
東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441(平日9:00~17:00 12:00~13:00は除く)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240707form/>



同時開催 展示会

「中世の光と影：イベリア写本の愉しみ」
6/7 ~ 7/12 東京外国語大学附属図書館

中世イベリアで作られた、ラテン語、ヘブライ語、
中世カスティールヤ(スペイン)語の彩飾写本を紹介。
開館中であれば、どなたでもご覧いただけます。

6/11(17:40~)、6/27(14:20~)
ブックトーク開催予定

交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車